

4歳から小学生まで、全国約2万人を指導する学習塾「花まる学習会」の代表、高浜正伸さん(61)。数学的思考力と読書・作文が中心の国語力、野外体験が指導の柱だ。グローバル化や人工知能(AI)の台頭を見据え「メシが食える大人、モテる人に育てる」理念が支持されている。コロナ禍では「学びを止めてはいけない」とオンライン教室も始めた。

## 人間発見

新型コロナウイルスの収束を待つだけなのは最悪だと、3月初めから、家でも学べるようなプログラムづくりに着手しました。YouTubeで授業を毎日配信し、週1回はZoom(ズーム)でホームルームのようなコミュニケーションの時間を入れたコンテンツも準備しました。スタッフにITの女人は誰もいませんでしたが、若手を中心に議論を繰り返しました。

教育改革実現国家の藤原和博

## ① モテる大人に育てたい

高浜正伸さん  
たかはま まさのぶ

花まる学習会代表



## 「〇つけ」で自信養う 思考力の鈍化に危惧

んは10年以上前から、日本の先生の授業をオンラインで見せ、学校の先生は良い授業を運んだり、子供をサポートしたりすべきだと話していました。僕は低学年には無理だと言っていました。今間違えました。画面に映る、人とつながるのがうれしく、低学年もそれなりに使いこなします。

オンラインがベストだとは思いませんが、子供にどういう教育を与えるかを考えるのは大人の責任。やるしかない。組織が

硬直し、考える力が国全体で鈍っていると感じました。

1993年にスタートした花まる学習会。楽しみながら勉強習慣を身につけることに重点を置いたユニークな塾として注目を集めた。

やる気と集中力、考え抜く力に重きを置いた塾です。パスルや迷路の問題を解いて思考力を育む独自の教材を使います。子供たちが飽きないよう教材は3〜5分で切り替えます。木製ブロックを組み立てて空間認識力

を磨いたり、日本の名文や時の書写で、鉛筆の持ち方や正しい姿勢を身につけたりもします。

計算問題を毎日3分間解きます。日々の成長を実感するため取り組みです。間違えても×はつけません。できるまでやり直し、「できたね」と〇。小学3年くらいまでは、やる気を失わせないことが重要です。

佐賀県武雄市では公立小学校の運営にも携わる。

4月から武雄市に11ある市立小学校の愛称が「武雄花まる学園」となりました。毎朝15分が塾と同じ教材を使った「花まるタイム」です。週に1回、発想力を養うためマンガのオチを想像する授業もあります。2カ月に1回、学年の異なる縦割りグループによる野外遊びの授業も設けています。集団活動を通じ、人への思いやりを学びます。

暗記の勉強だけで社会を生きて抜くのは難しい。花まるの学習法は子供時代の先生からの学びや、3浪4留した東京大学や東大大学院時代に考え抜いた経験に基づきます。子供たちにはメシが食えるイコール自立・自活できる、モテるイコール魅力的な人になってほしいです。

(生活情報部次長)

畑中麻里が担当します